

PAPAGO!

Driving Partner with you!

取扱説明書 User Guide

GoSafe 525 Compact Driving Recorder



FC CE

地デジやカーナビと電波干渉対策済みの設計

この度は、PAPAGO!製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ドライブレコーダーのご使用にあたり下記の作業をお薦めいたしております。
SDHCメモリーカードやmicroSDメモリーカードを定期的にフォーマット作業を行うこと、お願いいたします。詳しい操作方法は製品の「取扱説明書」にてご参照ください。

ドライブレコーダーに使用されるメモリーカードは車から供給される電圧電流が不安定と言われ、また、常にデータアクセスするため、一定の使用時間が経つとメモリーカード内部の構造が多少変わります。その原因で、本体が繰り返し再起動する可能性が高くなります。この場合にはドライブレコーダーの不良もしくは不具合が発生されていることはありません。

定期的にご使用のメモリーカードをフォーマットすることにより、メモリーカードを再構築でき、より安定したデータを記録出来ます。

注)
メモリーカードをフォーマットされる前に必ずパソコンなどに必要ファイルをバックアップしてからフォーマットしてください。フォーマットを行うと全てデータが消去されます。ご注意ください。

又、何か不明な点などございましたらお問い合わせください。
今後ともご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

GoSafe 525ご使用前の注意事項（必ずお読みください）

1. 他社製のシガープラグケーブルをご使用頂く際、電圧不安定で本体起動出来ない、録画途中で画面が中断、録画データがうまく取れないなどの恐れがありますので必ず本製品に付属しているシガープラグケーブルをご使用下さい。
2. 市販されているシガーソケット分配器は製品の品質によって、本製品と併用される際、電圧不安定で本体起動出来ない、録画途中で画面が中断、録画データがうまく取れないなどの恐れがありますので使用しないでください。
3. 本製品付属品もしくは同梱品以外での製品を合わせて併用される際、本製品に損傷や損害・破壊・爆発などを与える恐れがあります。その際に、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害など弊社はすべて責任を負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。
5. 本製品の初期不良交換期間はご購入日から起算して2週間以内となります。
6. 本製品の無償保証期間はご購入日から起算して1年間となります。
万が一故障した場合は販売店または当社サポート窓口へ本保証書を添えてお申し出ください。
また、修理依頼品をお送りいただく際の送料は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
7. 運送中の破損や紛失などについて、弊社は責任を負いかねます。
運送中の衝撃などに耐えられるよう、ご注意の上、梱包してください。

安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用の前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

- 下記の表示は、誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

 警告	死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

- お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止事項 （やってはいけない内容です）	 指示事項 （実行・遵守いただきたい内容です）
--	---

 注 意	
 禁止 運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。 コードを噛み込ませたり、引っ張ったり偏つけたりしない。 ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。	 指示 安定した場所に設置・固定してください。 固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。必ず固定してご使用ください。 取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。
 指示 規定容量のヒューズを使用してください。 必ず製品の規定容量のヒューズをご使用ください。	 禁止 ケーブルを引っ張らないでください。 シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。
 指示 音量にご注意ください。 電源投入時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げておく、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。	 禁止 停車中に長時間使用しないでください。 エンジン停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

 警 告	
 禁止 規定電圧以外で使用しないでください。 当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電圧・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。	 指示 車を離れる時は電源を切ってください。 車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があります。ご使用にならない時はシガープラグを抜いてください。
 水かけ禁止 水をかけたり、濡らさないでください。 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。	

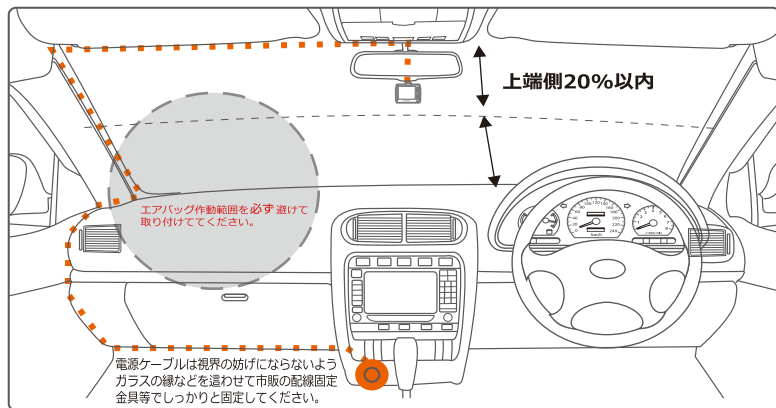
 禁止	運転の妨げになる場所に設置しない。 視界を妨げたり運転操作に支障のある場所には設置しないでください。 視界不良、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。	 禁止	高温にご注意ください。 高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。 発火・故障・変形等の原因になります。
 指示	エアバックにご注意ください。 エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。	 指示	シガープラグを定期的に点検してください。 シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不良や発火・感電等をひき起こす原因になります。
 異常のときはシガープラグを抜く。	故障・異常の際はすぐに点検を！ 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。	 禁止	運転中は操作しないでください。 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。 必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。 また、手動録画操作等の際には周囲の安全を充分に確認してから操作を行ってください。
 禁止	分解・改造しないでください。 感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。		

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して当社は一切の責任を負いかねます。
万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 万が一、映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合、また映像内容の詳細が判別できないことによる損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。
- 昼間に日差しや夜間にライト・ナビの画面など反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

2.取り付け/取外し

2.1 取り付け位置の確認



- 1.フロントガラスの上下幅の上側20%の範囲内に取り付けてください。
ご使用になる車種によって実際に取付け場所が多少ずれることがありますので、特に視界を妨げなく録画記録が出来る位置でも問題はありません。
- 2.降雨時に鮮明に記録可能なよう、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 3.フロントガラス縁の着色部やアンテナ・熱線などのワイヤー埋め込み部を避け、視界の妨げにならない場所を選択して取り付けてください。
- 4.エアバッグ作動範囲を必ず避けて取り付けてください。



エアバッグ作動範囲にご注意ください

エアバッグ作動範囲内に取り付けた場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝撃やエアバッグ動作の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。

本製品取付、配線時注意事項

- ・本製品及び接続ケーブルを車内に取り付ける前に、必ず動作確認を行ってから配線してください。
- ・ケーブル類を配線するときは、車両側部品との噛みこみに注意し、突起物に当たらないようにしてください。
※本製品の破損や漏電、事故・火災・感電等の原因となります。
- ・取付完了後は、ブレーキ・ライト・ホーン・ウィンカー等すべての電装品が正常に動作することを確認ください。
- ・車内配線に未経験の方は、必ず整備工場や専門業者に相談の上、取付けを行ってください。
万一上記問題がございまして当社と致しましては、一切責任は負いかねますのでご注意ください。
- ・LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。

- ・本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

使用注意事項

1. 使用法

1. エンジンを停止してもシガーライターに給電されている車両の場合、車両バッテリーの放電防止の為、未使用時にはシガープラグを必ず抜いてください。
2. エンジン停止後やアクシデントにより電源が切断された際などに一定時間録画状態を保てるように本体内にバックアップ電源を搭載しています。
また、本体の電源OFF直後もシステムおよびファイル保護の為、電源は即座には切れません。

3. 本体電源OFF直後は前述のようにファイル保護の為、シャットダウン処理中の場合があります。完全に電源が切れるまでMicroSDHCカードを抜かないでください。MicroSDHCカードのデータや本体の破損等につながる可能性があります。

2. 使用するメモリーカードについて（MicroSDHCカード）

1. 容量8GB以上、速度Class 10以上のMicroSDHCカードを推奨しています。
2. 使用前にMicroSDHCカードをフォーマットしてから使用してください。
3. 使用するMicroSDHCカード容量によって記録可能な時間が異なります。

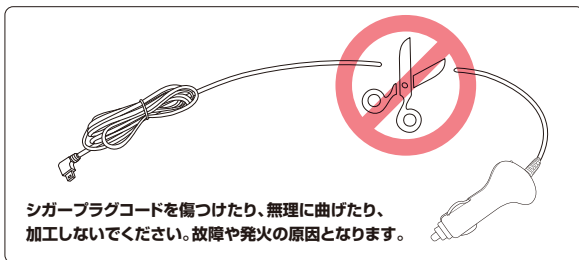
参考記録時間

MicroSDHC カード容量	FullHD1080p/30fps時 参考記録時間	HD 720p/30fps時 参考記録時間
8GB	約1時間30分	約3時間
16GB	約3時間	約6時間
32GB	約6時間	約12時間

3. 電源ケーブルについて

GoSafe 525は、専用の電源ケーブル以外を使用すると正常に動作しない場合があります。必ずパッケージに付属の12/24Vシガープラグケーブルを使用し、本体側面にあるUSB充電対応端子に接続してください。

参考情報（分解・改造を行わない）



※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、必ず電圧変換を十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えしまうと本製品の故障や破損、エンジン故障など事故の原因となります。必ず整備工場や専門業者の方とご相談ください。

1.はじめに

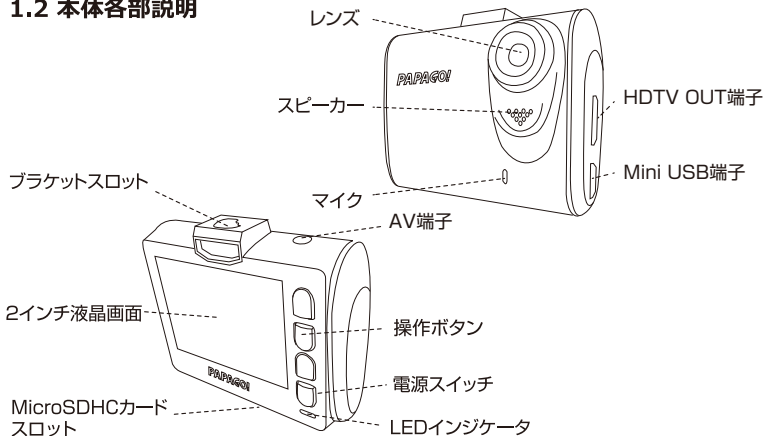
1.1 同梱物の内容

ご使用前に同梱物の内容に不備などないかご確認ください。

- ① 本体 ② 12/24V シガープラグ ③ ベースブラケット ④ 日本語 取扱説明書 ⑤ 国内保証書 ⑥ 8GB CLASS10 MicroSDHC x1枚

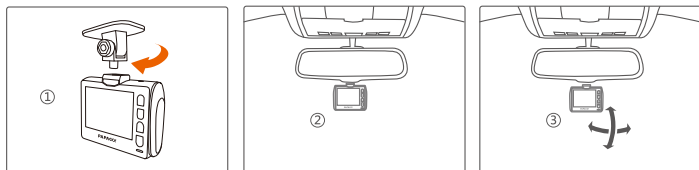


1.2 本体各部説明



2. 取り付け方法

最初に粘着シールの位置を決めてから作業を始めてください。事前に取り付ける位置のガラスを乾いた布でよく拭き、汚れ、油分、水分を取り除いてください。



1. ベースブラケットと本体のブラケットスロットにスライドして取り付けてください。
2. ベースブラケットの粘着シール保護フィルムを剥がし、適切な位置に貼り付けてしっかり押さえて固定します。(24時間以内に移動しないでください)
3. 適切な撮影角度を調整してください。

3. 使い方

本製品はお客様がご満足且つ快適にご使用頂くため、万全な設計と高品質管理されました製品です。ただ、天候状況や明るさなどにより、録画された映像がはっきりしないもしくは映像保存エラーが発生し、一部製品の安全機能がうまく稼働しない場合もございますので、予めご了承ください。

例

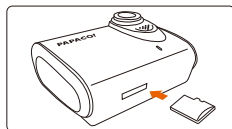
- ・ 急激に明るさが変わる場合
- ・ 日光の影と陽射しの逆光が強い場合
- ・ 車走行中の揺らぎ・振動
- ・ 悪天候(大雨、雪、強風、濃霧、夜間など)
- ・ 夜の光源が全くない極端な場合

3.1 起動～録画開始

- (1) MicroSDHCカードの金属面を下にし、スロットにしっかり差し込みます。
- (2) 電源コードがシガープラグに差し込まれている事を確認します。
- (3) 電源コード先端のmini USB端子を本体USBコネクタに差し込みます。

※スロット部よりカード下部が少し出ておりますが取り外しが容易に出来るように設計されております。まだ落下防止構造対策済みなので落下の恐れはありません。ご安心ください。

※これは初期不良ではありません。



3.2 初回起動時

初回起動時に言語及び現在時刻の設定を行ってください。

3.3 電源オフ～録画終了

(1) 電源ボタンを3秒以上押すと電源オフ、または電源オンになります。

(2) MicroSDHCカードの取り外しは、完全に電源が切れた事を確認してから行ってください。

3.4 LEDインジケータ



LEDカラー	状態
赤 常時点灯	パワーON/録画中
赤 二回点滅	①衝撃を感知し自動でバックアップ ②microSDHCカードの容量がいっぱいになったら、 古いデータから上書きされます
赤 点滅	録画できない ①microSDHCカードが保存できない ②microSDHCカードの容量不足 ③microSDHCカードがフォーマット エラー ④microSDHCカードをフォーマットしてください
赤 消え(黒)	設定中/動体検知モード使用中
緑 点灯	内蔵バッテリー充電中
緑 消え(黒)	内蔵バッテリーフル充電状態

3.5 各ボタンの機能

録画モード			
	①緊急録画スタート ②長押し3秒でマイク(オン・オフ)		録画ファイル再生
	①設定 ②長押し3秒で静止画を撮影		①モニタ画面OFF ②長押し5秒で電源ON/OFF
プレイリスト			
	録画モードへ戻る		上へ
	下へ		OK
緊急ビデオ／通常ビデオ			
	REC 録画モードへ戻る		
	上へ		削除
	下へ		前へ戻る
			一時停止/再生
設定モード			
	戻る		上へ
	下へ		OK

3.6 スクリーン表示内容

● 00:15:録画時間

- 🔇 :音声記録OFF
- 🚶 :動体検知機能作動中
- 📶 :出発遅延警告
- ☕ :ドライバー疲労警告
- 🚦 :ライト点灯忘れ警告
- 🚫 :速度制限標識警告
- ⚠️ :緊急録画表示
- 4 :緊急録画状態
- 🔋 :内蔵電池使用時
- 🔌 :電源コード使用時

WHD:解像度表示



3.7 ボタンの機能

録画モード:

- ⚠️ 緊急録画
- ▶️ 画像再生
- ⚙️ メニュー
- 🚫 モニタ画面OFF

設定モード:

- ↶ 戻る
- ⬆️ 上へ
- ⬇️ 下へ
- ✓ OK



プレイリスト

- 緊急ビデオ
- 通常ビデオ
-
-
-
-

0.0EV 2015/08/18 15:57:03

再生モード:

● REC 録画モードへ戻る

🗑 削除

↶ 戻る

⏸ / ▶ 再生/一時停止



4.設定メニュー（車の走行中の設定は大変危険なのでおやめください）

グレー色枠（本印刷物）/黄色色枠（本体操作時）の設定は工場出荷時の初期設定となっております。

また、場合によっては製造ロットにより、お手元の製品の設定はマニュアル表示と異なる場合がございますので、その場合にはお手数ですが、再度設定をご確認ください。

4.1 安全走行

4.1.a 初回使用時

初めて使用する際や本体を取り外して再設置した際には録画範囲が適正か確認してから使用を開始してください。

4.1.b 録画範囲の調整

- 1.本体の角度を調整し、ボンネット等が画面の1/4を超えないように調整します。
- 2.各種機能は撮影画像から判別されますので録画範囲調整が適切である必要があります。

4.1.c 映像位置校正

本製品が初期設定の場合、設定項目の「安全走行」（図1参照）を選択して、「映像位置校正」（図2参照）の項目を押せば、自動的に調整の説明映像（図3参照）が画面に流れます。調整の説明映像が全て終了すると設定画面に入ります。（図4参照）



図1

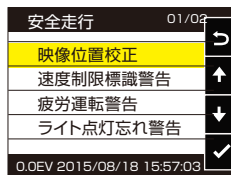


図2



図3



図4

設定の仕方（図5/図6参照）

上記データを参考しながら実際に本機械を手動で上下・左右を調整し自分が一番最適な位置に調整を行ってください。



図5



図6

4.1.d 速度制限標識警告

速度制限標識警告オフ/音声/警告音を設定します。

速度制限標識警告	
オフ	→
✓ 音声	↑
警告音	↓
ミュート	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.1.e 疲労運転警告

疲労運転警告の作動時間を設定します。(オフ/30分/1時間/2時間/4時間)

疲労運転警告	
01/02	→
オフ	↑
30分間	
1時間	↓
✓ 2時間	
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.1.f ライト点灯忘れ警告

ライト点灯忘れ警告オン/オフを設定します。

ライト点灯忘れ警告	
→	
✓ オン	↑
オフ	
	↓
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.1.g 出発遅延警告

出発遅延警告オン/オフを設定します。

出発遅延警告	
→	
✓ オン	↑
オフ	
	↓
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.2 録音設定

録画中に同時に音声記録するかどうかを設定します。

録音設定	
→	
✓ オン	↑
オフ	
	↓
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.3 EV値設定

EV(露出)値を調整して、適切な露出量を調整します。各±6段階調整対応(-2.0, -1.7, -1.3, -1.0, -0.7, -0.3, +0.0, +0.3, +0.7, +1.0, +1.3, +1.7, +2.0)
*EV(露出)値により映像画質が影響されます。

EV値設定	02/04
-0.7	⏮
-0.3	⬆
✓ +0.0	⬇
+0.3	⬆
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.4 解像度

録画の解像度を
2560x1080P30/2304x1296P30/1920x1080P30/1280x720P60/1280x720P30
設定します。

解像度	01/02
✓ 2560x1080P30	⏮
2304x1296P30	⬆
1920x1080P30	⬇
1280x720P60	⬆
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.5 動体検知

動体検知監視機能のON/OFFを設定します。
(※本機能を常時稼働させるには別途専用パワーケーブルもしくは常時電源供給装置が必要となります。)
※専用パワーケーブル:
スマート常時直結電源コード
型番:A-JP-RVC-1
JANコード:4582448450372)

動体検知	
	⏮
オン	⬆
✓ オフ	⬇
	⬆
	✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

※夏場は車内温度が非常に高くなります。モバイルバッテリーを使って動体検知監視機能を使う場合は、車のダッシュボードや直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。液漏れや発火、破裂、爆発の原因にもなります。

PAPAGO! 防犯監視機能対応

動体検知監視機能・イタズラや当て逃げ等の対策

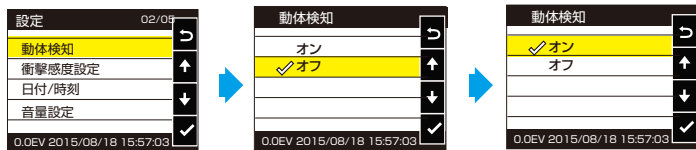
設定方法

動体検知機能を「オン」に設定し、カメラ上の映像に約1分間変化がないと待機モードに入り、待機モード中、車の前方に人・車が通るか動体が検知された時に、約1分間前後の自動録画開始し、また1分間経過後、特に変化がないと再度待機モードに入ります。（※動体検知録画中に設定方法により、録画モニターの表示をオン／オフすることは出来ます。）

通常は、定期的にメモリカードに入っている録画データをご確認頂ければ良いですが、もしも、何かご自分の愛車や周りの状況に違和感を感じる場合、直ちにその録画データをご確認の上、車の点検を行ってください。

PAPAGO! 防犯検知機能対応ドラレコ は、万が一の事故の時はもちろん、いたずら対策に役立ったり、時には事件解決の決め手となったり様々な用途で活躍出来ます。

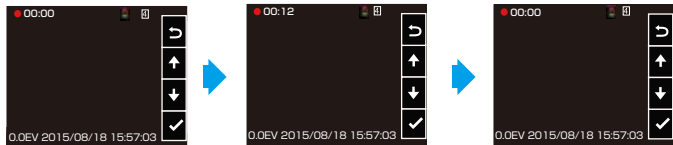
(1)「動体検知」→「オフ」(初期設定)→「オン」を設定ください。



(2)カメラ上の映像に約1分間変化がないと「待機モード」に入り(実際の画面左上部の録画時間が表示されない、**TFTモニター:オン、LEDランプ:赤→黒**)→待機モード中、車の前方に人・車が通るか動体が検知された時に「動体検知機能」が作動し録画開始(実際画面の左上部の録画時間が表して、例えば00:12に変化され、**TFTモニター:オフ、LEDランプ:黒→赤**)→また約1分間経過後、特に変化がないと再度待機モードに入ります。→実際画面の左上部の録画時間が表示されません。

もし、上記「動体検知機能」作動録画中に(1分間以内)新たな動体が検知された場合、その検知された時点から再度1分間のカウントで自動録画を続け、その動体が探知されないまで、循環録画を行います。

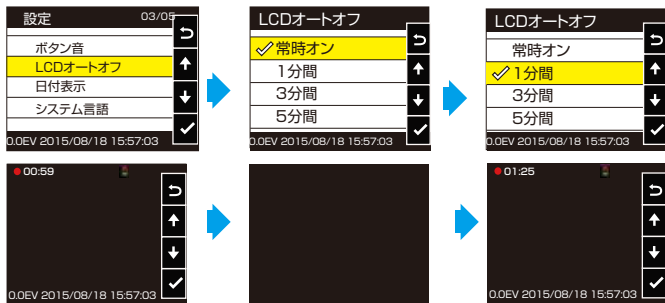
ひとつ最大循環録画時間は5分間、もし動体探知録画時間が5分間を超えた場合、その残りの時間を新たに別の録画データを作ります。



(3) もし、「動体検知監視機能」稼働中に、録画モニターを表示されない場合:

上記(1)の設定完了後、下記の手順にて設定を行ってください。

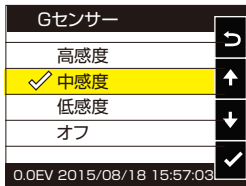
「LCDフォートオフ」→「常時オン」(初期設定)→1分／3分／5分を選択設定ください。→完了。



「▲」「OK」「▼」どれ
かのボタンを押せば、モニ
ターが表示されます。

4.6 .Gセンサー

衝撃感知設定の感知度を設定しま
す。(高感度/中感度/低感度/オフ
の4段階)



4.7 時刻設定

日付と時間を設定します。

日付/時刻	01/01
2015/01/01 00:00:01	⏮ ↑ ↓ ✓
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.8 音量設定

システムのボリュームを設定します。

音量設定	02/02
✓ 80%	⏮ ↑ ↓ ✓
100%	
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.9 ボタン音

ボタン操作音のON/OFFを設定します。

ボタン音	
✓ オン	⏮ ↑ ↓ ✓
オフ	
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

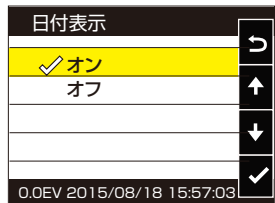
4.10 LCDオートオフ

画面の表示を自動的にオフにする時間を設定します。

LCDオートオフ	
✓ 常時オン	⏮ ↑ ↓ ✓
1分間	
3分間	
5分間	
0.0EV 2015/08/18 15:57:03	

4.11 日付表示

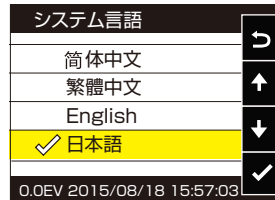
映像に時間表示を書込みします。



4.12 システム言語

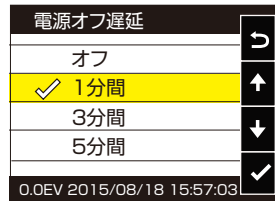
メニュー言語を設定します。

日本語、英語、中国語(繁／簡)など全4ヶ国語。



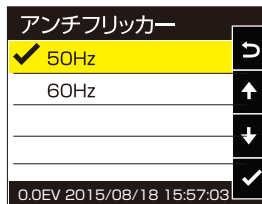
4.13 電源オフ遅延

外部電源がオフ後に本体の電源オフ時間を設定します。



4.14 アンチフリッカー

電源周波数を50Hzまたは60Hzに設定します。



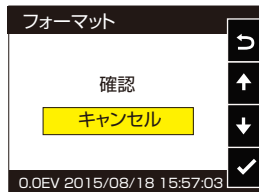
4.15 フォーマット

MicroSDHCカードをフォーマットします。

※MicroSDHCカードは消耗品のため、書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。約1年を目安に交換することをお勧めいたします。

※MicroSDHCカードは使用状況や安定して使用頂くため、必ず、定期的にMicroSDHCカードをフォーマットすることをお勧めいたします。

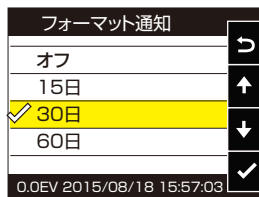
※この操作はMicroSDHCカードの全てのデータを削除します。データ削除後は元々に戻りません。映像または写真のバックアップを取ってからこの操作をおこなってください。



4.16 フォーマット通知

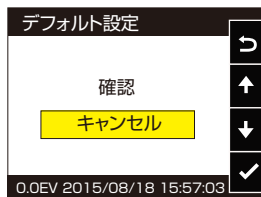
MicroSDHCカードのフォーマット通告を設定します。

※MicroSDHCカードを正しく安定してご使用いただくために、MicroSDHCカードは定期的にフォーマットを行うことをお勧めします。



4.17 デフォルト設定

各設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。



4.18 バージョン情報

システムファームウェアのバージョンを表示します。



5.録画／再生／削除

5.1 常時録画（繰り返し上書き録画）

- 1.電源が投入されると挿入しているMicroSDHCカードに自動的に録画を開始します。
- 2.継続して5分ごとにファイルを作成して録画を続け、MicroSDHCカードの容量が足りなくなる場合に、自動的に古いファイルからを消去し、上書きして録画を継続します。

5.2 緊急録画

1.手動録画

録画中に、「緊急録画」ボタンを押すことにより、リアルタイムに撮った映像を保護スペースに保存されます。

2.自動バックアップ(衝突感知自動保存)

衝突などにより衝撃を感知した際に自動的に前後の記録を保護スペースに移動させて上書きによる消去を防止します。

3. 保護スペースに保存できるファイルは10ファイルまでです。それを越えると自動的に古いファイルからを消去し、上書きして録画を継続しますので、常に録画ファイル数を確認して他の場所(パソコンなど)に保存してから削除してください。

5.3 スナップショット

1. 録画中に、 ボタンを3秒押すことにより、スナップショットができます。
2. スナップショットして撮った画像はMicroSDHCカード: \NORMALへ自動保存します。
3. スナップショットしたと、 のアイコンが出て行きます。撮った画像は上書きによる消去を防止されています。

5.4 USBリンクによるファイルの読み取り

1. USBケーブル(※)を使用して、本体とパソコンを接続すると、パソコン側に“リムーバブルディスク”として表示されます。
2. リムーバブルディスクを開くと2つのフォルダがあります。“\NORMAL”(繰り返し上書きファイル/スナップショットファイル)と“\EVENT”(緊急録画)。
3. 必要なファイルを選択して、パソコンにコピーします。
EVENT フォルダ :緊急ビデオ
NORMAL フォルダ :一般ビデオ/スナップショットファイル

USB connecting...

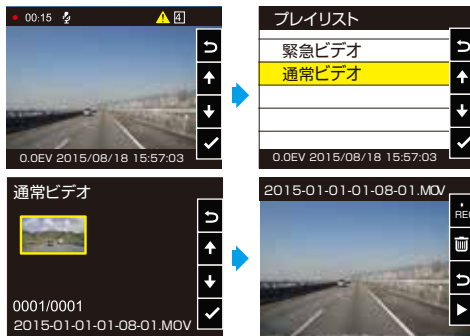
※ケーブルは付属していません。別途ご用意ください。

5.5 MicroSDカードからファイルの読み取り

1. 本体の電源をオフにした後、MicroSDカードを取り出します。
2. MicroSDカードをパソコン側のカードリーダーに挿し込むと、パソコン側に“リムーバブルディスク”として表示されます。
3. リムーバブルディスクを開いて、必要なファイルを選択し、パソコンにコピーします。

5.6 ビデオ・写真の再生/削除

1. 録画モードに、 ボタンを押して、プレイリストを表示します。
2. 再生するファイルを選択します。(通常ビデオもしくは緊急ビデオ)
3. ファイルを選択し、再生します。
4.  ボタンを押して削除したい録画ファイルが削除可能。



6. ドライブレコーダー動画再生専用ソフト"GoLiFE Player"

6.1 システム要件

OS	Microsoft Windows 8 / 7 / VISTA / XP
CPU	Pentium4 2.4GHz以上
メモリ	512MB以上
I/F	SDカードリーダー
推奨ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8

6.2 ソフトウェアのダウンロード

本製品は専用ソフトは同梱していません。

専用ソフトは下記のURLからダウンロード行い入手してください。

<http://www.papago.co.jp/golife.html>

- ①ダウンロードした圧縮ファイルを解凍
- ②"Setup.exe"ファイルを実行してインストール
- ③パソコンのデスクトップ画面にGoLifeのショートカットをクリックして実行

6.3 専用アプリケーション GoLife（動画再生ソフトの画面）



- 1.ビデオ ファイル リスト
- 2.ビデオ再生
- 3.機能リスト
- 4.速度/Gセンサー情報

7.GoSafe 525 専用オプション部品早見表

製品	型番	JANコード	製品名
	A-GS-G12	4582448450648	GoSafe 525 専用シガープラグケーブル
	A-GS-G10	4582448450624	GoSafe 525 専用ベースブラケット
	A-GS-G11	4582448450631	GoSafe 525 専用両面シート

PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コード

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-1	4582448450372	スマート常時直結電源コード 「対応機種」 New GoSafe 110、GS110、GS115、 GS200、GS210、GS220、GS272、GS350、 GS360、GS372、GS381、GS520、GS525

※一部図形表示や写真等はイメージで、実際のものとは異なる場合がございます。予めご了承ください。
また、製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

ドライブレコーダー専用オプション部品のご購入は、support@papago.co.jpまでお問い合わせください。

8.お役立ち情報

清潔

- レンズの撮影効果に影響を与えないようにするため、本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接ディスプレイに触れないでください。
- 機器に異物が混入した際は弊社までご連絡いただき、ご自身で本機や車用変圧器を解体しないでください。

使用上のご注意

- 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
- 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
- メモリーカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はメモリーカードを取り出してください。

トラブルシューティング

■不具合かな?と思ったら

製品の動作不具合の疑いがある場合、以下の項目を①②③をご確認ください。
作業内容は取扱説明書をご確認ください。

①メモリーカードのフォーマット

必要なデータがあればパソコンにデータを保存してください。

本体の設定画面からフォーマットを選択し実行してください。

本体でフォーマットできない時にはパソコンでフォーマットを実行してください。

※フォーマットする理由

メモリーカード側の仕様で使用状況により書き込みできない状態になることがありますので、定期的にフォーマット(初期化)して正常な状態に戻して下さい。

②電源(製品側の動作をチェック)

必ず付属のシガープラグ電源ケーブルで車側のシガーソケットに直接接続してください。

シガー電源分岐アダプタや他の電源入力は使わないでください。

他社製の変換ケーブルは電圧に影響を及ぼす場合もあるため動作保証できません。

③設定のデフォルト(初期化)

ドライブレコーダー本体の設定をデフォルト(初期化)してください。

症状が改善されましたら製品自体に問題がございません。

症状改善されない場合には使用状況にもよりますが念のためシガープラグ電源ケーブルを触っていただき断線や接触不良の有無も念のためご確認ください。

■FAQ

Q:製品が起動しない

A:製品本体に正しい電力が供給されているか、あるいは電力が低すぎないか確認してください。

"  "キーを押して再起動してください。

Q:モニターに現在録画されている映像が表示されない。

A:録画モードでディスプレイ表示がオフになっていないか確認してください。

"  "キーを押してディスプレイ表示をオンにしてください。

ディスプレイにLCDオートオフが設定されていないか確認してください。

"設定-LCDオートオフ"でディスプレイの設定を変えることができます。

Q:メモリーカードがいっぱい

A:メモリーカードをフォーマットしてください。

必要なデータがあればパソコンにデータを保存してください。

削除および初期化は後に戻せません。映像や写真のバックアップを取ってから再操作してください。

本体の設定画面からフォーマットを選択し実行してください。

本体でフォーマットできない時にはパソコンでフォーマットを実行してください

Q:本体で映像を再生できない

A:メモリーカードの映像や写真のファイル名やフォルダ名が変更されていないかパソコンで確認する。

メモリーカード自体が破損している可能性もあり、パソコンで認識できるか確認してください。

※メモリーカードについて

メモリーカードは消耗品のため書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。

約1年を目安に交換をお勧めしています。

安心してご利用頂くために定期的なフォーマットを推奨しております。

上記の内容でもまだ解決しない問題については、販売店が当社までご連絡くださいますようお願いいたします。

9.その他

CE規制について

本説明書に記載されているマーク、商品・サービス名は、各社の商標または登録商標、版權であり、説明する目的として使用するのみです。



WEEE. [(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

WEEE



電池

製品やパッケージに本記号が表示されている場合に、本製品と内蔵電池を廃棄する際には、一般の廃棄物とは分別して指定した適切な回収場所に廃棄してください。より詳細な情報については、各自治の廃棄物管理機関や販売元あるいは廃棄物サービスステーションにお尋ねください。資源回収は人々の健康と環境保護に役に立っております。是非、ご協力をお願いします。

本製品は下記の規制に満たして設計されております。

電磁環境両立性指令 2004/108/EC

低電圧指令 2006/95/EC

電気電子機器における特定有害物質使用制限指令2002/95/EC

EuP指令(エネルギー使用製品)2005/32/EC

ErP指令(エネルギー関連製品)2009/125/EC

FCCについて

本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。
これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合(装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます)、以下の手段を講じることが推奨されます:

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線/テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項

PAPAGOが明示的に承認していない機器の変更や修正を行った場合には、ユーザが機器を使用する正当な権利が無効になることがあります。



地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

10.修理依頼時の注意事項について

より正確、より早くスムーズに修理検証が対応できるため、店舗もしくは当社宛てに、製品をご返送頂く場合、大変お手数ですが、必ず、下記同梱品のすべてをご返送ください。

◎ドライブレコーダー本体

◎製品に同梱されている専用シガープラグケーブル(電源コード)

◎製品に同梱されているSDメモリカード

※事前にお客様ご自身でSDメモリカード内のデータをバックアップ取ってください。

当社はそのSDメモリカード内のデータは一切保障出来かねますので、ご了承ください。

また、ご依頼事項内容もご記入頂き、上記製品と一緒に同梱で、店舗もしくは弊社まで送付してください。

(1)

◎本製品の初期不良交換期間はご購入日から起算して2週間以内となります。

◎本製品の無償保証期間はご購入日から起算して1年間となります。

万が一故障した場合は販売店か当社サポート窓口にて本保証書を添えてお申し出ください。

また、修理依頼品をお送りいただく際の送料は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。

(2)

◎運送中の破損や紛失などについて、弊社は責任を負いかねます。

運送中の衝撃などに耐えられるよう、ご注意の上、梱包してください。

※PAPAGO!製品に関するお問合せについて※

弊社は万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら、大変お手数ですが、どうぞご連絡をください。

公式ホームページのお問い合わせフォームをご記入頂く場合:

<http://www.papago.co.jp/rma.html>

製品メールサポート担当宛てにてご連絡頂く場合:

support@papago.co.jp



一番 パパゴ
0570-001-885

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間: 10:00~12:00 14:00~17:00
月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始特定休業日を除く)

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、
お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

PAPAGO!

Driving Partner with you!

PAPAGO JAPAN株式会社

Designed in Taiwan, Made in China

Ver.6.1 201509



